



タネピリカ



ピリカ君

タネピリカってアイヌ語で“これで良い”って意味だよ

タネピリカ

建部タイムスリップ

雛祭り

昔は「雛あらし」ゆうてねえ。女の子が産まれた初めての春に雛のお祝いをしたんよ。福渡で集う、ひなげし会のおばあちゃんに聞いてきました。

「雛あらし」には、親戚や兄弟を招き、藤娘や市松人形と供に雛人形を飾り、ご馳走をいっぱい並べて接待します。

近所の子ども達は誘い合って、初雛をしている家に行き、ご馳走やお供えのお菓子を頂きます。多いときは7件もハシゴをしたとか。雛人形は里の親から送られ、お内裏様とお雛様は屏風の前に座っているのではなく、御殿に入っており、とても豪華でした。菱餅も手作りです。

雛人形は3月3日から旧暦のひなまつりである4月3日まで飾り、

タネピリカはここ建部に新しく苗を育てに来た人と、この里を守りたいと願う地元の人との交流新聞です。

早く片付けないと縁遠くなる。そして毎年出してあげないと箱の中で雛様が踊る。といわれ毎年出していたそうです。

4月3日はちようど桜の咲く季節。仲良しの友達と山や河原などお気に入りの場所でお花見をします。お花見のおともは重箱に入ったご馳走。お楽しみの中味は巻きずし、卵焼き、するめでんぶん（さきするめを甘辛く煮たもの）天ぷら、みかん、そして手作りの羊羹。帰ってきたらまた詰めてもらい次の日もお花見に行きます。

当時は縁の下で鶏や食用ウサギを飼い、ハレの日にすき焼きをし、ウサギの皮は子ども用の首巻にしていたそうです！

目次

建部タイムスリップ	1
福島からの便り	2
ここがええんよたけべ	3
私と娘のお気に入り	3
建部オンザロード	4
お店紹介	5
野草のおはなし	5
我が家	6
俳句倶楽部	7
イベント案内	7
ピリカ日和・公民館より	8



福島からの便り

Vol. 11

2011年3月11日.

あの日から続く今があります
福島に想いを寄せ.

耳をかたむけてください.



今回のお便りを書いてくれたのは、飯沼和歌子さん。福島県川俣町に暮らしながら、震災後は絵や写真などで福島を伝え、微生物による土壌浄化と畑作物栽培の可能性を探っています。今回は、わかちゃんが絵本づくりに携わった「たましいになったブチ」について、お便りを書いてくれました。 by あい

放射能への恐怖を抱きながら、大好きな福島を離れることもできず、実家のある東京と福島を行ったり来たりしていた空白の2011年がすぎ…。

2012年、私は川俣町山木屋地区と飯館村に何度か車を走らせました。「美しい山木屋地区と飯館村の写真撮っておきたい。」当時、その想いが、放射能への恐怖よりも募るものとして胸にあったのです。

飯館村で私の目を特に惹いたのは、草を食む美しい馬の姿でした。写真を撮っていると、牧場主の方が車で見回りに来たので、「写真を撮ってもいいですか？」と尋ねると、「どうぞどうぞ！ この道をもっと先に行けば、日本一小さい馬もいるよ！」と言われて、また去っていかれました。これが細川牧場の馬との最初の出会いでした。

2013年、「飯館村の牧場で、ポニーがバタバタ死んでいる」と福島スタディーツアーの案内をしている関久雄さん（タネビリカ11号参照）が、一枚の写真を見せてくれました。横たわった仔馬、骨と皮だけになった細い脚の先でヒヅメが際立って見え、ショックで言葉が出ませんでした。私はスタディーツアーの食事作りと福島の話の日常について話を頼まれていましたが、一緒にコースをまわる役目でなくてよかった、カラスにつつかれていることもあるという、ポニーの死んだ姿は見たくない…、と思うばかりでした。

けれども、あの美しい牧場の風景と馬たちのこと、言葉を発することのない生き物たちの苦しみは、私の頭から離れないものになっていました。

後日、関さんはこの馬たちのことを物語にされました。そして、私がかつて描いた動物の絵を観た時に、「こういう感じがちょうど合う」と言って、「たましいになったブチ」の絵を頼んでくださったのです。

その頃、原発事故後の福島では、時間の経過とともに、いろいろな風に心の疲れもたまっていました。集中して何枚もの絵を仕上げしていく作業に、大きな自信があったわけではありません。けれど、私にはそれがポニーとの約束のように感じられ、がんばることができました。

「たましいになったブチ 3・11飯館村の牧場で起きたこと/詩」

関久雄 作 / 久野わか 絵

発行元 NPOライフケア 定価 700円(+送料)

建部町公民館、岡山県立図書館にて閲覧できます。

ご注文・お問い合わせは waka.beans@ezweb.ne.jp 飯沼まで





ここがええんよたけべ 「富沢の里山まつり」

by あい

一見なにもないような山の一角ですが、楽しさ盛りだくさんのスペースです。

毎年3月に開催されるおまつりではステージやおいしい出店が並び、その広場の背後にある山の大きな斜面は、子ども達の格好の遊び場に早変わり。急な勾配に足を取られながらも、たくさん子ども達がひたすら登る光景は、見ている方も楽しくなります。小さい子も大きい子の登り方をまねたり、助けられたりしながら登っていき、やがて見晴らしのいい頂上へ。今年はこちらに新しいツリー展望台も完成しました。また広場の奥では、トンカチでトントン巣箱を作ったり、シイタケの菌打ち体験や遊歩道の散歩もできます。ここでは年間を通じて、炭焼きや森の整備、木や竹の加工品づくりもされています。

この里山スペースが妙に楽しいのはなぜか？ それはきっと、「里山や子どもたちの遊びを大事にしたい」という思いを持ちよったメンバーの方たちが、熱心に、そして楽しみながら、整備してくださっているからじゃないかな、と毎年遊びに行かせていただいている私は思います。今年も3月20日に開催されます。ぜひどうぞ♪

♪第5回春の建部里山祭り♪ 3月20日(日)10時~14時 場所: 建部町富沢・鳥越

内容: もち投げ、里山コンサート、体験コーナー、シシ汁や竹パン、木炭の販売など

主催: 森の育て親・建部連絡協議会 090-7504-8475(事務局 勝部)



私と妹のおきにいり

私のおきにいりは高島那生さんの絵本

「おまかせツア〜」 理論社出版

「カエルのおでかけ」 フレブル館出版

高島さんの描くユニークな世界が大好き♡「ほう、そうきたか!」と思う展開がまっています。

「のらのら」 農文協出版

家族で楽しむことのできる農業雑誌です。春夏秋冬号があり、畑初心者の私にもピッタリ。バケツ休選手権(1粒の種モミから何粒まで育てられるかを競う)や季節ごとの手作り作品、栽培法など、すぐマネできそうな事がたくさん載っています。

娘(6才)のおきにいり

絵本は11匹きのねこシリーズ。

馬場のほるる作 こぐま社出版

シリーズの中でも「11匹きのねこ」

「11匹きのねこどろんこ」

「11匹きのねことぶた」



は声をあげて笑うほどです。

子どもの笑いのツボにはまる作品!!

ページをめくるたび、どんた

オチがまっているのか

ワクワクします。



あや



今回お話を伺いしたのは、建部上のご自宅で2年前から伺っている「身体ケア まごの手」として、地元のおじいさん、おばあさん、ママ世代などをお願いしている佐藤桂子さんです。桂子さんは広島県出身で3児の母。4年前、東京から、ご主人の生まれである建部町へリターンされてきました。

◆東京からのリターン、暮らしてみても感想があればおきかせください。

建部は主人の実家で、そこに80代の祖父母が二人で暮らしていました。だから、いつかは帰らなくてはいけないだろうなあ、頭にはありました。ただ、建部へ帰っても主人に仕事があるのか、子どもたちの学校についても考えたりして、数年悩みながら、東京で暮らしていました。すんなり決心がつくものではありませんでしたよ。

暮らし始めた頃、あれもないしこれもない。建部は不便だなと感じていました。でも、建部には山があつて川があり、子どもたちがのびのびと遊ぶ姿「山の中で遊ぶのってサイコー」「山って気持ちいい」と、言っていることに励まされました。

建部は田舎ではあるけれど、ここ（建部上）なんかは自転車で買い物にもいけるし、JRだってあるわけで困らないですよ。じいちゃん、ばあちゃんが繋いでくれたこともあるけれど、人と人との近い付き合いが良いです。今ではいい所だと思います。

◆「身体をほぐす」ことを始めたきっかけを教えてください。

東京で暮らしていた頃、普通に会社勤めをしていたのですが、この仕事は自分以外の人でもできる仕事だと思えて転職を考えました。その時に、誰かの為に何か出来ることがしたいと、整体を学びました。学び終えた当時、子どもがまだ小さかったこともあり、整体師ではなくセラピストとしてパートで働いていました。

建部にもどり、やっぱり年齢を重ねると、みなさんどこかが痛いですよね。はじめは主人の、祖父母をほぐしていました。でもそのうち、元気に外に出られている、身近にいるおじいちゃんおばあちゃんたちも、「ここがいたい、ここがいたい」って、私もほ

ぐして欲しいって来て下さる様になり。徐々に広がっていきました。それから、2年前に自宅の一部屋を「身体ケアまごの手」として始めることに決めました。

◆疲れた人の身体をほぐしながら思うことありますか？

みんな頑張り過ぎだだと思います。特に女性は自分より子ども、自分より周りの人を優先してしまうので、身体が固まりやすいのかな。本当は、誰かにほぐしてもらいより、ランニングとかストレッチ、ラジオ体操でも良いんだけど運動をした方がよいです。続かないとか、時間がないとかであれば、身体をほぐしを頼れば良いのかなと思います。でも、これも一度したから良くなるわけではないです。身体は時間が経つとまた、戻ってしまうので、続けてもらうことが大事です。

今回、取材をしながら実際に施術をうけてみました。自分自身では、肩とか首とかが疲れていると思っていたのですが、腰の方が危険！と指摘を受けました。そういえばなんかだるいなあとは思っていたのですが、施術後はこのままだと眠ってしまいましたくらい心地よかったです。

桂子さんにこれからの夢を伺ったのですが、人が好きだから暮らせる場所をつくりたい！酒場なんかも開けたら良いんだけどなあって。明るくて、元気を建部の人にまた出会えたと嬉しく思いました。

「身体ケアまごの手」は、紹介のある方のみをみられています。なるべく地元のおじいちゃんおばあちゃん、小さな子どもを持つお母さん、遠くまでいけない人たちを見てあげたいという、優しい想いのあるサロンです。（あゆみ、こと）

お詫びと訂正

前号（19号）の建部オンザロードでは佐藤麻衣子さんのお名前を麻衣さんと掲載しておりました。ここに、お詫びとともに訂正をさせていただきます。

お店紹介

そば処 でんしょう坊の巻。

建部町吉田、国道53号ものごむ緑の屋根の古民家が「そば処でんしょう坊」です。風情のある入口脇には大きな「蕎麦」ののぼり。1歩中に入ると雰囲気ピッタリな手作り小物の販売もしています。お蕎麦屋さんを始められたのは10年程前。現在の2代目谷さんに変わられては3年目だそうです。「とにかくうどんより蕎麦が好き！」という伝説。広島の名店で修業の後、吉田にお店をOPENしました。お蕎麦の粉は季節によって美味しい物を各地から取り寄せ、特にこだわっているのが粉のみき方。【丸ぬき】と呼ばれる蕎麦の実の殻だけを取り除く製粉方法で甘皮を残す分、甘みが強く色味香りも良いのだそうです。実際口にしたらお蕎麦は色味も青みがかって美しく、モチモチとコシの強い麺につゆがおいしい感じに絡まって美味。合わせて頂いた天ぷらも色どり良くサクッと揚がってお蕎麦に合う～一番人気は何ですか？と伺うと「ざるそばかな。やっぱり蕎麦屋だからね。」という言葉に店主としての誇りを感じました☆



そば処でんしょう坊 0867-722-3577
 OPEN 11:00～売切次第閉店(予約もOK!)
 ♪火曜定休 ♪ 岡山市北区建部町吉田1208

山菜のたね

通称「イタドリ」、建部辺りでは「しゃんご」と呼ばれている。折ると中空でポンと音がして「スカンポ」とも(スイバも「スカンポ」と呼ばれるが別の草)若葉をもんですり傷に当たると多少止血するので「痛みをとる」「イタドリ」。全国で360通りもの呼び方があるそう。茎を切って両端に切り目を入れて水に晒して、両端が反り返った茎に枝などを通して水車にしたり、道端に生えている若芽の皮をむいてかじったりと、春のなじみ多い野草でもある。

雌雄異株で夏には2mくらいに伸びて白い房のような花が咲く。日本から中国あたりまでの東アジア原産。コンフリーを突き破る敏殖力で、なんと世界の侵略的外来種ワースト100のひとつで、ヨーロッパなどは駆除の対象らしい。びっくり山菜として、高知県では売っていたりとよく食べられる。

若芽の皮を剥ぎ塩もみして、炒めたりさっと湯がいて水に晒して炒め煮にしたり、塩煮けにしたり、春が来ると、山菜でワフワフだあ♪



山菜
2016.2.17
MIZUE

わが家

まずは家族の紹介をします。

夫。2人兄弟の次男として生まれました。生粋の建部っ子です。ヘアサロンのオーナーをしています。私。3姉妹の長女として生まれました。岐阜県の出身です。建部に嫁いで今年で十年になります。夫と一緒に仕事をしています。

そして、長女、次女、長男の3人の子供がいます。長女はのんびり屋さんですか、下の子達の面倒をよくみてくれる、母の右腕的存在です。しかしまだ甘えたいので、父のヒゲすりすりに喜んでいるかわいい子なのです。

次女は、外ではしっかり者で通っている様ですが、家では別人かと思うほど甘えん坊ちゃんです。字と絵を書く事が大好きで、熱中するあまり、指が痛くて曲がらないーと言いながらもまた書く…全く熱心な子です。

長男は、電車と車が大好きで、農作業の車が通ると追いかけてはいられません。豆乳大好き、食べる事大好き。おかげで気持ちいいほど、ムチムチと成長しました。

3人は朝から寝る瞬間まで、しゃべって、ケンカして、笑ったり泣いたり、母に怒られたりと毎日にぎやかにやっています。

夫と出会ったのはもう15~16年前になります。高校卒業後、京都にあるヘアサロンに務め始めたのですが、そのお店の先輩が夫でした。その時からずっと一緒に仕事をしているので、今でもお店では先輩、後輩の厳しい上下関係が続いています。これがいいのか、悪いのか…

そして、今から10年前の春、建部に嫁いで来たのですが、住み始めて驚いた事が、まずウグイスがすぐ近くで鳴いていたことです。どこかにスピーカーでもあるのかと思っていました。

もう1つは魚や、パンなんかを、売る車が来る事です。とても珍しくてウキウキしながら買っていました。

当時は知り合いも友達もいなかったの、かなり暗かったと思います。この頃毎晩、夫に孤独だ、寂しいとブツブツ言っていました。よく聞いてくれたなと彼の忍耐に感謝です。

でも、子供が保育園に入って一年位たつと、子供を通してお母さん達とも話ができて、しばらくすると、友達として付き合えるようになりました。建部に来て4~5年たってやっと馴染んでこれたんだなと思えるようになりました。

この頃、よく子供達とドングリや松ぼっくり拾ったり、草むらや畦道をどこまで繋がっているかひたすら歩いたり、近所の人に花の冠の作り方を聞いてつくったりして遊んでいました。

10年前は今の生活が想像もできなかったけど、今はここで子供を育てる事ができてよかったと思っています。子供たちが大人になって故郷を思い出す時、この景色を思い浮かべてくれる事が嬉しいと思っています。

こうして節目の10年に我が家を振り替える機会を与えてもらって、とてもありがたかったです。

今、書いているこの時も我が家はてんやわんやですが、あ~楽しい!!

以上です。よろしくお願ひします。

榎本ゆか



俳句倶楽部



もっと俳句の面白さを知りたい！と思い建部町公民館
クラブ講座「俳句を楽しむ会」の皆さんにお願ひし、
今回もインタビュウして俳句にまつわるお話を伺いました。

風花やひとひら受けし字

葵風

日の光に輝きながら舞う、その無垢な煌めきに
われを忘れて手を差し伸べた瞬間融けて消えた。
それに心ひかれた。

薄氷や焔忘れし洗桶

久代

おばあちゃんが野菜を桶に入れて洗ってくれた。水の
入った洗い桶を片付け忘れていたら、翌朝薄い氷が
はっていた。

建部は第二の故郷種を播く

梢雪

県外からこの地を第二の故郷と移住してこられ、
早くこの地に溶け込もう、少しでも住みやすい町にし
ようと、タネピリカを始め色々な活動で頑張っ
ていらっしやる若い人達へのエールの一句です。皆様の
播かれた種がこの建部の地で大きく花開くことを期待
しています。



「作った俳句を持ち寄って、月一回集まっておしゃべりをす
る事がたのしいんよ」と笑顔で話して下さいました。一つの
句から広がる世界を、それぞれの視点から語り合う、贅沢で
ステキな時間をお裾分けして頂きました♪

かっちゃん&あや

建部 春のイベント情報

たけべの森はっぱ桜まつり

4月10日 10時～15時

たくさんの種類の桜が咲きみだれるたけべの森公園でお花見だあ。
屋台やステージも盛り沢山。1.5kmに及ぶ八重紅垂れ桜トンネルも。

場所 たけべの森 入園料 (大人 300円、子ども 200円)

吉田れんげまつり

4月29日 10時～14時

吉田のれんげ畑の中で餅つき、地元の子どものステージなど
音楽もあり、わいわいと家族で楽しめるお祭りです。

場所 吉田生活改善センター近くのレンゲ畑の田んぼ 入場無料

たけべカップ カヌー大会

5月14日 15日 9時～17時

カヌーの国内トップ級選手が集うジャパンカップの前哨戦となる
迫力満点の大会です。

場所 建部観光案内所近くの特設会場 入場無料

建部に会おう、建部で暮らそう、自然と寄りそう豊かな里からの発信

たけべ新聞

はじまったよ～。たけべ新聞でインター
ネット検索してみてくださいね。ホ
ームページ、Facebook のページがあり
ます。「たけべに会おう、建部で暮らそ
う、自然と寄りそう豊かな里からの発
信！」建部の最新情報が盛りだくさん
です。建部に遊びに来たいと思ってい
る方☆ カフェ情報、温泉情報載って
ます。建部に住みたいと思っている方
☆建部の様子が分かります。建部に在
住の方☆もっともっと建部が好きにな
っちゃいま～す。タネピリカもこちら
のページでダウンロードできます。
<http://www.takebenews.com/>



あゆみ

たけべは新しい発見がいっぱい！編集作業の中の新しい発見もありました！
知らなかった事がわかる、楽しい！
みなさんも楽しいを
いっぱいみつけてくださいわ！

ピリカ日和



「ほのぼの暖かくなり春ですね。引越しなどで建部に新しいメンバーも加わり、またにぎやかになりそうです。
ドキドキ参加した俳句クラブの取材もあたたかいエールのメッセージで迎えていただきほのぼのうれしかったです。
県外のお友だちからも楽しみにしているお声！うれしいです。」



からちゃん

たかたか糸を織いたりする時間が持たないなか、「野草のおはなし」のおかげさまで、楽しい時を持つ事ができています。
よせり、な、と、でき、た、事が、い、っ、ぱ、い、！ 笑



みずえ

公民館より

「たけべ未来塾」活動の発表

県教委の「若者が主役！まるごと活性化事業」の成果発表が2月19日、県生涯学習センターでありました。公民館を拠点に若者の活躍の場を創出し、地元を元気にしていきたいという取組です。

事業に参加したのは、岡山、高梁、美作市など6市3町の、10実行委員会（公民館を核に組織）。我が「たけべおこしプロジェクト委員会」は、岡山市の代表です。内容は、建部の魅力を発信するデートコースを考案。備前焼や草木染、温泉や食べ歩きといったプランなど、盛りだくさんの内容となっています。

たけべおこしのメンバーの意気込みが会場の県内の社会教育関係者や参加者に十分伝わったと思っています。

また、今後の取組として「たけべのごちそう」と題した冊子や建部でできる体験を紹介したパンフレット「たけべ暮らし」も作成します。

乞うご期待！！



【発行】

岡山市立建部町公民館 「タネピリカ」新聞委員会

〒709-3111 岡山市北区建部町福渡 496-1

電話 (086) 722-2212 Fax (086) 722-2160

E-mail takebekoumin@city.okayama.jp